学校研究全体構想図

七尾東部中学校　研究構想図

教育目標
ふるさとを愛し，主体的に学び、豊かな心と健康な身体を育み、
たくましく未来を拓く生徒の育成

めざす生徒像

・粘り強い心と体を持つ生徒
・明朗で思いやりのある生徒
・目標を持って学習する生徒
・自主的に行動する生徒

めざす教職員像

・生徒の意欲を高め、わかる授業に努める教師
・生徒理解に努め、一人一人の個性を認め励まし、生徒の主体性を育てる教師
・課題解決に組織的に対応でき，保護者、地域と連携し、信頼に応える教師

生徒の実態
・素直で活発
・主体的に学ぶ姿勢に課題
・知識・技能を活用する能力が不足

教育基本法
学習指導要領

石川の教育振興基本計画
七尾市学校教育ビジョン
学校長教育ビジョン

「徳」の領域

・道徳教育の充実
・特別活動の充実
・生徒指導の充実

研究主題
対話力の育成
～学びを委ねる単元デザインから学びの実感へ

「体」の領域

・体育授業の充実
・部活動の充実
・食育の充実

「知」の領域

○研究仮説

すべての教科において、教科の枠を越え、単元の中にアクティブラーニングの視点および適用題を位置づけた授業を計画的に実施すれば、生徒の活用力ならびに主体性は向上するであろう。

また、単元のゴールを生徒と教師が共通理解し、学びを活用したり、振り返る時間を設定することで生徒の活用力ならびに主体性は向上するであろう。

○PDCA 計画

・学力向上ロードマップに基づき，年間３回の研究の方向性を含めた見直しを行い，計画(Ｐ)・実行(Ｄ)・検証(Ｃ)・改善(Ａ)を行う。
・校内研修会を通じ，研究実践の成果を共有し，共通実践に役立てる。

○具体的な実践内容　研究の重点

（１）授業づくり
２条：自ら課題を発見し，主体的・協働的に課題を解決する力の育成
①MJ カードを利用することで、単元のゴールを教師と生徒が共通理解する。
②活用力向上スケジュールを作成し、計画的に適用題を単元に取り入れる。
③主体的に学ぶ工夫を４種類に分け、それらの工夫を取り入れた授業づくりを行う。

（２）基盤づくり
８条：よりよい学習習慣・生活習慣の定着
①七尾東部スタンダードを利用した授業規律の徹底
②家庭学習の充実
③学習強化週間の設定
④ICT の活用
⑤Tobu’s Talk による人間関係づくり
⑥朝学習の実施

（３）指導改善を進める体制づくり
１１条：現状把握に基づき，取組の実施・評価・改善を図る指導体制の確立
①計画的な要請訪問と校内研修会の実施
②学力向上ロードマップの活用